

# 平成 19 年度日本難病看護学会総会 議事録

日時： 平成 19 年 8 月 24 日(金) 午後 12 時 45 分～午後 1 時 45 分

会場： かでる 2・7 大ホール

## 1. 平成 18 年度事業報告

小西理事より、下記の事業内容について報告された。

### 1) 第 11 回日本難病看護学会学術集会開催

会長： 野川 道子(北海道医療大学)

メインテーマ： 「難病療養者と家族の日常を支えるケア」

参加者数： 414 名

会場： 北海道立道民活動センター「かでる 2・7」(札幌市)

会期： 平成 18 年 8 月 25 日(金)～26 日(土)

### 2) 学会誌発行

11 巻 1 号 平成 18 年 7 月発行 112 頁

(第 11 回日本難病看護学会学術集会プログラム・抄録集)

11 巻 2 号 平成 18 年 12 月発行 68 頁

11 巻 3 号 平成 19 年 3 月発行 52 頁

(付録:「重度の障害を持つ仲間とボランティアー障害の理解と安全な余暇活動ー」重症心身障害児の安全な移送のビデオ作成と支援ネットワーク事業 独立行政法人福祉医療機構 子育て支援基金 平成 17 年度)

### 3) 理事会開催(合計 3 回)

平成 18 年 6 月 29 日(木)： 第 10 回学術集会会計報告、第 11 回学術集会開催計画、平成 17 年度会計報告、将来計画委員会

平成 18 年 8 月 15 日(火)： 第 11 回学術集会開催計画、平成 18 年度総会準備、将来計画委員会

平成 18 年 8 月 25 日(金)： 第 11 回学術集会開催計画、平成 18 年度総会準備、将来計画委員会

### 4) 学術集会企画委員会開催(合計 15 回)

第 11 回学術集会企画委員会:2006 年 4/24、5/26、6/10、6/18、7/15、7/30、8/9、8/23

第 12 回学術集会企画委員会:2006 年 9/15、10/15、10/29、12/1、2007 年 1/19、2/13、3/26

### 5) 学術関連の活動等

(1) 日本学術会議(第 1 部 社会福祉・社会保障学研究連絡委員会)への登録:

第 20 期(平成 18 年度～平成 20 年度)

学術会議において難病看護学を位置づけ、難病看護学の発展を図る。

(社会福祉系学会連絡協議会分担金 40,000 円が平成 18 年度より追加された。)

(2) 日本看護系学会連絡協議会:

看護学研究連絡委員会の解消に対し、第7部(医学)への「看護学研連」設立要望を継続する。  
日本学術会議および国内の学術組織と交流・相互協力を行う。  
社会に貢献できる看護学研究を推進する。

(3) 看護系学会等社会保険連合:

以下の委員会活動において、①の委員学会として活動を進める。

①看護技術検討委員会

②診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会

(看護系学会等社会保険連合会費 50,000 円が平成 18 年度より追加された。)

6) 日本難病看護学会として得た研究助成金による研究活動

(1) 平成 18 年度文部科学省科学研究費補助金 研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)」

交付金額;1,210 千円

第 11 回学術集会における

公開シンポジウム「難病療養者と家族を支えるケアの課題と展望－ALSに焦点を当てて－」

公開セミナー6 題

(2) 平成 18 年度独立行政法人福祉医療機構助成事業

交付金額;1,188 千円

「医療ニーズの高い重度障害者の社会参加と生活支援に関するネットワーク構築と普及事業」

なお、本研究はこれまでの事業の蓄積を高く評価され、「高齢者・障害者の社会参加の促進に関すること」において積極採択(新しい発想に基づく従来の枠を超えた活動について積極的に対象とする事業)として採択された。

(3) これまでの成果

① 文部科学省科学研究費補助金 研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)」

平成 15 年度	720 千円	第 8 回学術集会 公開シンポジウム 「安心して在宅療養生活をすすすために」
平成 16 年度	1,200 千円	第 9 回学術集会 公開シンポジウム 「尊厳ある新たな生活構築とその支援」
平成 17 年度	1,250 千円	第 10 回学術集会 公開シンポジウム・公開セミナー 「難病医療ネットワークの課題と展望」

② 独立行政法人福祉医療機構助成事業

平成 13 年度	4,420 千円	「在宅難病療養者の社会参加の支援に関する普及事業」
平成 14 年度	4,575 千円	「在宅神経難病療養者の意思伝達・コミュニケーション障害に対する支援方法の基準化と普及事業」
平成 15 年度	1,547 千円	「進行する身体機能障害を持つ児童・生徒の社会生活活動とボランティア育成に関する事業」
平成 16 年度	1,285 千円	「進行する重度の身体機能障害を持つ児童・生徒の社会生活活動を豊かにする、大学生等によるボランティア活動の安全性に関する事業」
平成 17 年度	2,545 千円	「重症心身障害児の安全な移送のビデオ作成と支援ネットワーク事業」

## 2. 平成 18 年度会計報告(自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日)

### 収入の部

科目	予算	決算	(決算-予算)
① 会費 1)	2,400,000	3,306,000	906,000
② 報告集・学会誌売上 2)	200,000	210,358	10,358
③ 寄付 3)	0	26,000	26,000
④ 雑収入 4)	1,000	10,304	9,304
⑤ 学術集会還元金(第 11 回学術集会)	0	500,000	500,000
⑥ 前年度繰越金	2,192,683	2,192,683	0
収入合計	4,793,683	6,245,345	1,451,662

1) 計 551 人(H19 会費 6 人分+H18 会費 409 人分+H17 会費 132 人分+H16 会費 4 人分)

2) 学会誌売上計 129 部+難病文献目録集売上計 1 部

3) 役員寄付計 9,000 円+学会員寄付計 17,000 円)

4) 文献許諾使用料 10,304 円

### 支出の部

科目	予算	決算	(決算-予算)
① 学会誌発行費 1)	750,000	702,345	47,655
② 学術集会補助金(第 12 回学術集会)	500,000	500,000	0
③ 学術団体活動分担金等 2)	210,000	208,000	2,000
④ 会員管理費等 3)	700,000	753,600	△53,600
⑤ 人件費 4)	700,000	690,800	9,200
⑥ 送料・手数料	350,000	253,125	96,875
⑦ 会議費 5)	120,000	136,200	△16,200
⑧ 事務費	250,000	241,374	8,626
⑨ 雑費	50,000	0	50,000
⑩ 予備費	1,163,683	0	1,163,683
支出合計	4,793,683	3,485,444	1,308,239

1) 11(1) 800 部, 11(2) 800 部, 11(3) 800 部

2) 日本学術会議平成 18 年度活動分担金 30,000 円、日本看護系学会連絡協議会平成 18 年度会費 80,000 円、社会福祉系学会連絡協議会分担金 40,000 円、看護系学会等社会保険連合会費 50,000 円  
日本学術協力財団「学術の動向」平成 18 年度購読代金 8,000 円

3) 6,280 円×120 人日

4) 6,280 円×110 人日

5) 理事会会議代 46,200 円+交通費 90,000 円

次年度繰越金 6,245,345 円 - 3,485,444 円 = 2,759,901 円

## 3. 平成 18 年度会計監査報告

小西理事より上記のとおり会計報告があり、川村佐和子監事から会計報告に相違なく、帳簿類も正確に記載されていたという会計監査報告があり、承認された。

#### 4. 平成 19 年度事業計画

牛込代表理事より、下記の事業計画が報告され、承認された。

##### 1) 第 12 回日本難病看護学会学術集会

会長： 石鍋 圭子（青森県立保健大学）  
メインテーマ： 「難病療養者のリハビリテーション」  
会場： 青森県立保健大学(青森市)  
日時： 平成 19 年 8 月 24 日(金)～25 日(土)

##### 2) 学会誌発行(12 巻 1 号発行、2～3 号発行予定)

12 巻 1 号 平成 19 年 7 月発行  
12 巻 2 号 平成 19 年 12 月発行予定  
12 巻 3 号 平成 20 年 3 月発行予定

##### 3) 役員選挙結果

本田彰子選挙管理委員長より、下記の内容が報告され、承認された。

在籍数 580 名(正会員 579 名、名誉会員 1 名)のうち、住所不明 31 名を除く 549 名中、投票数 98 のうち無効票 0(有効投票率 17,9%)であり、下記の理事 7 名、監事 2 名が選出された。

###### 理事

秋山 智	(広島国際大学)	牛久保 美津子	(群馬大学)
牛込 三和子	(群馬パース大学)	小倉 朗子	(東京都神経科学総合研究所)
小西 かおる	(昭和大学)	野川 道子	(北海道医療大学)
本田 彰子	(東京医科歯科大学)		

###### 監事

川村 佐和子	(青森県立保健大学)		
渋谷 優子	(新潟医療福祉大学)		(五十音順・敬称略)

新役員の互選により牛込三和子氏が代表理事に推薦された。

#### 4) 学術関連の活動等

##### (1) 日本学術会議

第 20 期(平成 18 年度～平成 20 年度)登録  
第 1 部 社会福祉・社会保障学研究連絡委員会に所属

##### (2) 日本看護系学会協議会

日本学術会議および国内の学術組織と交流・相互協力を行う。  
社会に貢献できる看護学研究の推進を図る。

##### (3) 看護系学会等社会保険連合

以下の委員会活動において、①の委員学会としての活動を継続する。

###### ①看護技術検討委員会

###### ②診療報酬および介護報酬体系のあり方に関する検討委員会

本田理事より①の活動内容が報告され、診療報酬化されるべき看護技術について報告し検討される場が得られたため、看護研究を推進しエビデンスを蓄積することが呼びかけられた。

## 5) 研究助成金による研究活動

### (1) 平成 19 年度独立行政法人医療福祉機構福祉基金助成事業

交付金額: 1,485 千円「高医療依存度重度障害者における社会参加と支援ネットワークの普及事業」

### (2) 厚生労働科学研究費補助金 研究班との協力

第 12 回日本難病看護学会学術集会公開シンポジウム

「安全と安心ー在宅障害者とともに創るチームのかたちー」

このシンポジウムは、平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金障害福祉総合研究事業「在宅重度障害者に対する効果的な支援のあり方に関する研究(主任研究者 川村佐和子)」の調査報告に対して、財団法人に本章会社リハビリテーション協会へ医政 19 年度障害保健福祉総合研究推進事業一般向け研究成果発表会の助成を受けて一般無料公開された。

## 6) セミナー等による研究成果の普及交流活動

「医療依存度の高い療養者の社会参加支援ネットワークの構築に向けて」の実施予定

## 5. 平成 19 年度予算案(自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

小西理事より、下記のとおり予算案が報告され、承認された

### 収入の部

科目	H18 年度予算	H19 年度予算	
① 会費	2,400,000	3,600,000	9,000 円×400 人
② 報告集・学会誌売上	200,000	200,000	
③ 寄付	0	0	
④ 雑収入	1,000	1,000	
⑤ 学術集会還元金(第 12 回学術集会)	0	0	
⑥ 前年度繰越金	2,192,683	2,759,901	
収入合計	4,793,683	6,560,901	

### 支出の部

科目	H18 年度予算	H19 年度予算	
① 学会誌発行費	750,000	1,000,000	学会誌の充実
② 学術集会補助金(第 13 回学術集会)	500,000	500,000	
③ 学術団体活動分担金等	210,000	410,000	分担金増加、看保連の調査等
④ 会員管理費等	700,000	900,000	会員管理システムの改善
⑤ 人件費	700,000	800,000	学会誌充実に伴う人件費の増加
⑥ 送料・手数料	350,000	500,000	会員への通知等の充実
⑦ 会議費	120,000	120,000	
⑧ 事務費	250,000	450,000	これまで据え置いた機器の購入
⑨ 雑費	50,000	50,000	
⑩ セミナー費等	0	300,000	これまでの研究の普及
⑪ 選挙管理費	0	100,000	次期役員(H20~H22)の選挙
⑫ 予備費	1,163,683	1,430,901	
支出合計	4,793,683	6,660,901	

学会誌の内容やセミナーの開催などを充実させ、難病看護にかかる活動の活性化を図る。

(1) 未納会費の徴収について

① 会費滞納者の取り扱いについて

平成 19 年 4 月 1 日現在、平成 16～18 年度の会費滞納者 84 名に会費納入の依頼書を送付した。しかし、11 名は退会希望の意思を示し、73 名は 19 年 7 月 31 日までに滞納分の会費の納入がなかったため、合計 73 名を退会したものとみなした。

6. 名誉会員の推薦

牛込代表理事より、日本看護学会規約第 5 条の 2(名誉会員)に則り、以下の 3 名が名誉会員として推薦され、承認された。

石川 左門

木下 安子

西 三郎

(五十音順・敬称略)

7. 第 13 回日本難病看護学会学術集会 会長挨拶

本田彰子氏(東京医科歯科大学)より、第 13 回日本難病看護学会学術集会が下記の日程及び会場で開催されることが説明され、挨拶が行われた。

第 13 回日本難病看護学会学術集会

会長： 本田 彰子 (東京医科歯科大学)

日程： 平成 20 年 8 月 29 日(金)～30 日(土)

会場： タワーホール船堀(東京都江戸川区)